

9 公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団

令和2年7月1日現在

設立年月日		昭和48年4月20日		代表者氏名		理事長 山口 千秋								
所在地		名古屋市中区金山一丁目4番10号				電話番号		052-322-2774						
ホームページアドレス		http://www.nagoya-phil.or.jp/												
資本金・基本金		10,000千円		市出資・出捐金		10,000千円		(100.0%)						
所管部局		観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化振興室				電話番号		052-972-3172						
設立目的		交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り、文化の発展に寄与することを目的とする。												
主な事業	事業名		令和元年度 事業費		事業の概要									
	定期演奏会、巡回演奏会、移動音楽教室		723,966千円		音楽文化の発展・普及のための演奏会【定期演奏会】、地方自治体等の依頼による演奏会【巡回演奏会】、小・中学生や高校生を対象とする音楽鑑賞教室【移動音楽教室】を開催									
	特別演奏会、依頼演奏会		215,911千円		それぞれの趣向を凝らす特別企画の演奏会【特別演奏会】、企業・団体等からの依頼による演奏会【依頼演奏会】を開催									
	室内楽		9,532千円		企業・団体等からの依頼によるアンサンブル（小編成）の演奏会を開催									
役員数			常					勤		非 常 勤				
	役 員 数		2人		(うち市派遣)		0人		(うち市OB)		1人		19人	
	職 員 数		77人		(うち市派遣)		1人		(うち市OB)		0人		9人	
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)			6,000千円		正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)			6,201千円		正規職員 平均年齢 (市派遣職員除く)		42.4歳		
			平成29年度		平成30年度			令和元年度						
市からの財政支出	委託料		1,954千円		956千円			909千円						
	内 随意契約金額		(1,954千円)		(956千円)			(909千円)						
	補助金		271,682千円		285,182千円			284,198千円						
	指定管理料		0千円		0千円			0千円						
	貸付金 (年度末残高)		0億円		0億円			0億円						
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益		1,054,049千円		1,090,689千円			992,408千円						
	経常費用		1,019,847千円		1,123,975千円			1,033,534千円						
	経常利益（損失）		34,202千円		▲ 33,285千円			▲ 41,127千円						
	当期利益（損失）		33,365千円		▲ 31,906千円			▲ 41,127千円						
貸借対照表	総資産		679,980千円		690,780千円			641,950千円						
	内 流動資産		(294,078千円)		(283,979千円)			(234,851千円)						
	内 固定資産等		(385,902千円)		(406,801千円)			(407,099千円)						
	総負債		249,351千円		292,030千円			284,321千円						
	内 流動負債		(148,563千円)		(170,050千円)			(157,383千円)						
	内 固定負債等		(100,788千円)		(121,980千円)			(126,938千円)						
	純資産（正味財産）		430,630千円		398,750千円			357,629千円						

経営に関する指標（共通指標）

9 公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団

○法人の自立性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	26.2%	28.7%	+2.4%
市との随意契約比率	$\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
		令和元年7月1日現在	令和2年7月1日現在	対前年増減
市職員の役員就任割合	$\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	15.8%	14.3%	▲1.5%
固有職員比率	$\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	97.3%	97.4%	+0.1%
○組織運営の効率性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
管理費比率	$\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	3.0%	3.3%	+0.3%
○財務の健全性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left(\frac{\text{純資産（正味財産）}}{\text{総資産}} \right)$	57.7%	55.7%	▲2.0%
流動比率	$\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	167.0%	149.2%	▲17.7%
固定長期適合率	$\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産＋固定負債}} \right)$	78.1%	84.0%	+5.9%
借入金依存度	$\left(\frac{\text{借入金＋社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金（欠損金）	$\left(\frac{\text{純資産（正味財産）}}{\text{－基本金・資本金}} \right)$	388,750千円	347,629千円	▲ 41,121千円

○ 経営戦略計画（H29～H31）の概要

経営戦略方針			
①オーケストラだけでなく、アンサンブル（小編成）などの演奏事業にも積極的に取り組み「市民に親しまれるオーケストラ」、「市民に愛されるオーケストラ」を目指す。 ②充実したリハーサルの実施など、日々演奏力向上のために切磋琢磨することにより、優れた音楽性と演奏技術を持った「市民が誇れるオーケストラ」を目指す。 ③4管16型のオーケストラ（当面は3管14型）を目指し、編成の充実及び演奏力の向上に取り組むことにより、日本を代表し、世界的にも評価されるオーケストラとなるための礎を築く。 ④財務状況を改善し、安定的な経営基盤を築く。			
主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標（単位）	31 目標値	31 実績値
中部地方の本格的なオーケストラとして、市民に気軽に質の高いクラシック音楽を提供する責務があるとともに、市文化振興計画においても役割が求められている。そこで、年間演奏回数を具体的な成果目標として定め、音楽を通じて本市の文化振興を図る。【公共サービスの充実】	演奏回数の確保（回）	120	113
賛助会員数は、団体の活動が市民等から理解されているかどうかのバロメーターである。そこで、賛助会費収入を具体的な成果目標として定め、法人・個人に対し団体の活動の周知を図るとともに、賛助会員収入の確保を図り、財務内容の改善・向上に努める。【財務内容の改善・向上】	賛助会員収入の確保（千円）	149,400	141,330
国・県・市からの補助金のみに頼ることなく、事業収入等の確保に努め、純資産を維持することを具体的な成果目標として定め、安定的な財団運営を目指す。【効率性の発揮と成果】	正味財産の確保（千円）	266,560	357,629
演奏力の維持・向上のため、財政状況に留意しつつ、計画的な欠員補充を成果目標として定め、人材力・現場力を強化する。【人材力・現場力の強化】	計画的な欠員補充（楽員）（人）	82	71